エコアクション21
環境活動レポート

対象期間
2022年4月1日-2023年3月31日

発行日　2023年9月　1日
改定日　2023年9月　1日

～環境対策へ貢献する～

東環工業株式会社

環境レポート体系

Ⅰ.組織概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～5

Ⅱ.実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅲ.環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Ⅳ.環境目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

Ⅴ.環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

Ⅵ.実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

Ⅶ.環境活動の取組み結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

Ⅷ.環境関連遵法性評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

Ⅸ.代表者による全体の評価と見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

Ⅰ.組織概要

1. 組織

1) 名称及び代表者

東環工業株式会社

代表取締役　田中 孝浩

2) 所在地

〒471-0017

愛知県豊田市寺部町 5 丁目 500 番地

3) 設立

1979 年 12 月 1 日

4)資本金

1000 万円

5)従業員数

18 人(常駐作業者含)

6)売上高

3 億 2 千万円(第 44 期分)2022 年 4 月～2023 年 3 月

7)事業活動の内容

・産業廃棄物収集運搬業
・工場及び住宅設備機器の維持・管理業務
・各種プラント維持・清掃・補修
・配管洗浄及び補修・カメラ調査
・高圧洗浄工事及びスチーム洗浄業務
・高速道路維持、清掃業務
・一般貨物自動車運送業

8)環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者　田中 孝浩

連絡・担当者　　田中 翔大

TEL:0565-32-5814　FAX:0565-32-6791

MALE:shota_t@tokan-industry.co.jp

2. 事業所

1.全組織・全活動をエコアクション21の対象としています。

1）本社　東環工業株式会社

住所：愛知県豊田市寺部町5丁目500番地　〒471-0017

TEL0565-47-5814　FAX0565-47-5816

敷地　2477.81㎡　事務所　505.26㎡

・2022年12月より上記、新事務所へ移転

2.一般貨物輸送事業　許可年月日　（中部運輸局）

平成19年5月1日

3.財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター　加入年月日

2022年3月1日

4.とよたＳＤＧｓパートナー登録証

2019年11月29日

5.産業廃棄物運搬量

第44期分（2022年4月～2023年3月）

産業廃棄物収集運搬量

(1)	廃油	1,341,580t
(2)	汚泥	3,179,930t
(3)	廃アルカリ（普通）	873,480t
(4)	廃アルカリ（特管）	259,310t
(5)	廃酸（普通）	718,340t
(6)	廃酸（特管）	191,110t
(7)	合計	6,563,750t

6．収集運搬車両の種類及び保有台数

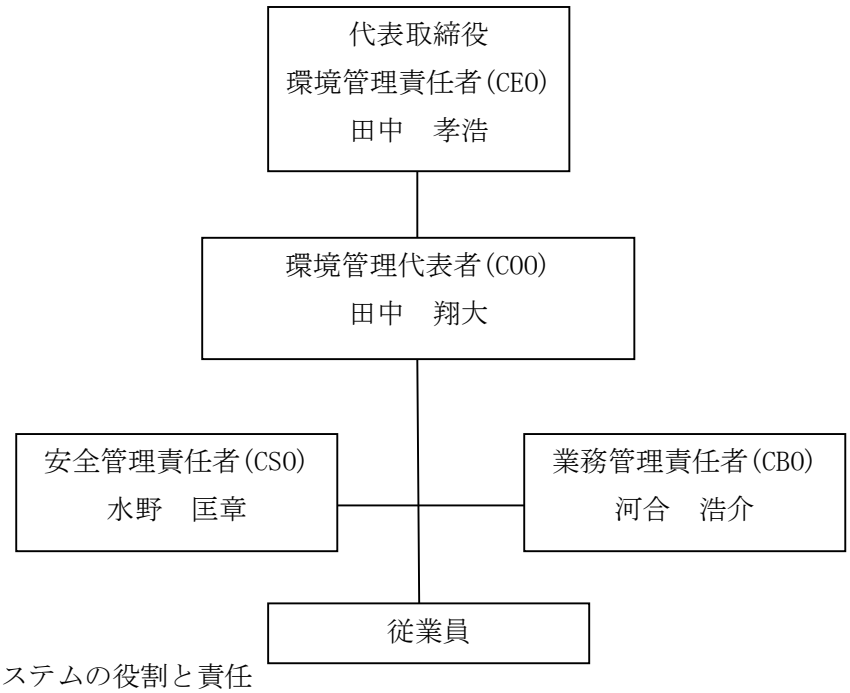
1）16t 吸引車　 4 台
2）13t 吸引車　 2 台
3）　4t 吸引車　 2 台
4）高圧洗浄車　 2 台
5）　2t ﾄﾗｯｸ車　 2 台
6）管内調査車両　 1 台
7）ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ営業車　2 台

3. 許可内容

	許可及び登録の内容	許可登録番号	許可年月日	許可の有効期限
愛知県	産業廃棄物収集運搬業 (1) 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず、及び陶磁器くず 以上6品目 (2)特別産業廃棄物収集運搬業 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ 以上34品目	02300000593	平成元年 11月24日 平成5年 10月6日	令和6年 11月15日 令和10年 10月5日
岐阜県	産業廃棄物収集運搬業 (1)積替え・保管を除く 汚泥、廃プラスチック類、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上5品目 (2)特別産業廃棄物収集運搬業 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害ばいじん、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ 以上8品目	02100000593	平成9年 3月18日 平成11年 9月28日	令和9年 3月17日 令和6年 9月27日
三重県	産業廃棄物収集運搬業 (1)積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上4品目 (2)特別産業廃棄物収集運搬業 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ　以上3品目	02400000593	平成9年 4月4日 平成11年 12月3日	令和9年 4月3日 令和6年 12月2日
静岡県	産業廃棄物収集運搬業 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ　以上4品目	02201000593	平成14年 5月10日	令和10年 5月9日
長野県	産業廃棄物収集運搬業 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ　以上4品目	2009000593	平成15年 11月10日	令和10年 11月9日

Ⅱ.実施体制

1.　エコアクション２１の取組体制



2.環境経営システムの役割と責任

代表取締役 環境管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境方針の策定 ・環境目標及び環境活動計画の承認 ・環境管理責任者の任命、環境活動に必要な資源の確保 ・環境経営システム全体の評価及び見直し ・環境活動計画書兼管理表の承認
環境管理代表者 業務管理責任者	・環境経営システムの構築及び運用管理 ・環境活動の取組結果を経営責任者へ報告 ・環境活動計画書兼管理表の作成 ・外部からの苦情・要望対応責任 ・環境活動レポート案の作成 ・エコドライブへの巡視と確認
業務管理責任者 計画管理責任者	・環境活動の取組結果を環境管理代表者へ報告 ・社内での教育及び訓練の実施 ・社内での環境方針の提案 ・コピー用紙の再利用の分別 ・社有地の確認及び周辺の巡回
従業員	・環境方針、環境目標を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・自主的、積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 環境経営方針

環境経営方針

当社は廃棄物の収集運搬業・中間処分業及びリサイクル活動を通じ、持続可能な循環型社会の形成、維持に貢献する。

＊当社は環境マネジメントシステムを構築し、その運用や有効性を監査し、レビューすることにより、これの継続的改善を図る。

＊当社に適用される環境法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。

＊当社が持つ廃棄物処理に関する技術や情報を活用し、持続可能な循環型社会の形成に必要な廃棄物の適正処理とリサイクルを推進する。

＊当社は資源の節約やリサイクル、二酸化炭素排出量の削減、各種グリーングッズを使用することで省資源化を推進する。

＊当社が保有する各種設備や設備の管理充実を図り、公害防止を含む環境汚染の防止に努める。

＊当社の社員には、環境ボランタリ活動への参加を推奨する。

この環境方針は、当社の全ての従業員に適用すると共に、一般の人々が入手可能な管理を行うものとする。

制定日　　2015 年 7 月 25 日
東環工業株式会社
代表取締役 田中孝浩

Ⅳ. 環境経営目標

東環工業株式会社　中期環境経営目標　　事業年度：4月～翌年3月

項　目	単位	2015.4～2016.3（基準）	2022.4～2023.3（目標）	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
1.電力使用量削減	kWh	14,319.3	13,818.1	13,746.5	13,675	13,603
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
2.灯油使用量削減	L	596.04	575.18	572.2	569.2	566.2
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
3.LPG排出量削減	Kg	73	70.4	70.08	69.7	69.4
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
4.ガソリン使用量削減	L	546.8	527.7	524.9	522.1	519.5
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
5.軽油使用量削減	L	67,412.2	65,052.8	64,715.7	64,379	64,042
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
6.二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	179,876.3	173,580.6	172,681.2	171,782	170,882
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
7.一般廃棄物使用量削減	袋	56	54.04	53.8	53.4	53.2
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
8.水使用量削減	m^3	408.4	394.1	392	390	388
		基準	-3.5%	-4.0%	-4.5%	-5.0%
9.グリーン購入品目の向上	品数	108	145	145	150	150
		基準				
10.地域貢活動(道路清掃)	毎週(回)	2	4	4	4	4
11.各車両の点検及び整備	毎週(回)	2	4	4	4	4

電力事業者調整後排出係数 0.472 kg-CO2/Kwh（2017年度中部電力㈱）

*1：化学物質については、PRTR法に該当する物の取り扱いはありません。

Ⅴ.環境経営計画

作成日　2022 年 3 月 25 日

環境経営計画

取組項目	具体的活動内容
1.電力使用量の削減	・使用箇所での使用に心掛ける。 ・社員退社後、不要な照明を消灯する。 ・ＰＣの使用後は電源を切る。 ・エアコンの設定温度を冷房 28℃、暖房 20℃とする。 ・街灯及び社内の節電を全員で心掛ける。
2. ～5. 燃料使用量の削減	・運行ルートを再度確認する。 ・車両の確認を常時行う。 ・車間距離を十分とり、加速・減速の少ない運転をする。 ・経済運行に乗務員全員で取り組む。 ・エアコンの使用は適切に、設定温度を管理する。 ・点検整備をし、車輌を維持する。 ・定期的に空気圧チェックをする。 ・燃料タンク周辺の適度な清掃を行い漏洩の確認をする。 ・車両の無用なアイドリングをやめる。
6. 二酸化炭素排出量の削減	・上記2～5の活動による。
7. 一般廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別を徹底し、資源化する。 ・事務所内に分別ボックスを設置する。
8. 水使用量の削減	・手洗い等使用時は効率的に行うようにする。 ・洗車する際ノズルの取り付けを実施して継続する。
9. グリーン購入率の向上	・エコマーク品・グリーンマーク品の優先購入をする。 ・購入物品の管理を徹底する。
10. 地域貢献活動	・会社周辺の道路を可能な限り清掃する。 ・定期的に行われる地域の清掃運動に積極的に参加する。
11.各車両の点検及び整備	・車両の点検を行い、不備がないか確認する。 ・オイル等の漏洩で公害汚染を常時点検しながら防ぐ。 ・車両の備品から薬品等漏洩がないか常時確認の実施。

※上記に対してスケジュール等は通年実行する事。

対象者　：　環境管理代表者　　田中　翔大

業務・安全・計画管理責任者　　水野匡章　河合浩介

実施担当者　　従業員全員

Ⅵ. 実績

短期環境目標と実績

取組み期間　　R4(2022)年４月１日～R5(2023)年３月 31 日

項 目	単位	R4 年４月 ～R5 年３月 目標	R4 年４月 ～R5 年３月 実績	削減率 (%)	評価
1.電力 使用量削減	kWh	13,818.1	9,972	138.6	達成
2.灯油 使用量削減	L	575.18	551.4	104.3	達成
3.LPG 使用量削減	kg	70.4	67.2	104.8	達成
4.ガソリン 使用量削減	L	527.7	491.7	107.3	達成
5.軽油 使用量削減	L	65,052.8	61,251.9	106.2	達成
6.二酸化炭素 排出量削減	Kg-Co2	173,580.6	161,566.6	107.4	達成
7.一般廃棄物 使用量削減	袋	54.04	51	106	達成
8.水使用量 削減	m^3	394.1	379.3	103.9	達成
9.グリーン購入 率の向上	品数	145	167	115.2	達成
10.地域貢献活動 (道路清掃活動)	回 (毎週)	4	4	100	達成
11.各車両の点検 及び整備	回 (毎週)	4	4	100	達成

［電力排出係数は、3 年間同じ係数を使用し算出する］

電力事業者調整後排出係数 0.472 kg-CO2/Kwh（2017 年度中部電力㈱）

Ⅶ. 環境活動の取組み結果

環境目標の達成状況および環境活動計画の実施状況の評価
および未達成の場合の今後の今年度の取組み

環境目標項目	達成状況	環境活動計画実施状況 達成・未達成の要因	今後の今年度環境活動 計画への追加・変更
1.電力使用量の削減	達成	・冬季、エアコンの使用を控えた。 ・退出時、消灯の徹底。	・通年、退出時の消灯及びLED導入に努める。 ・エアコンの使用を考慮。
2.灯油使用量の削減	達成	・灯油使用機材を電力に変更。 ・再利用原料の購入。	・引き続き計画を継続する。 ・作業灯油のﾘｻｲｸﾙ率向上。
3.LPG使用量の削減	達成	・湯の使用頻度を低減。 ・手洗いでのこまめな切り替えを実施。	・今後も継続の実施。 ・重点項目として今後も意識して行う。
4.ガソリン 使用量の削減	達成	・作業機材を新機材へ導入。 ・社用車をﾊｲﾌﾞﾘｯﾄへ変更。	・新機材導入の為、今後も継続を行う。
5.軽油 使用量の削減	達成	・経済運行の為、ルートの見直しを図った。 ・大型車両も現社会に適用車両へ変更。	・エコドライブ継続運用。 ・運行ﾙｰﾄの再度確認。 ・燃費向上を意識。 ・遠方にても業務改革。
6.二酸化炭素 排出量削減	達成	・全取り組みへの社員全員の心掛け及び徹底をした為、削減及び数値を下げれた。	・上記対応を通年行う。 ・上記に対して再確認と意識向上する。
7. 一般廃棄物 使用量の削減	達成	・今後は更なる分別、ﾘｻｲｸﾙに努める。	・再利用を常に検討。 ・分別を必ず行う。
8.水使用量削減	達成	・洗車の効率の変更を行った。	・今後も継続の実施。 ・節水対策を行う。
9. ｸﾞﾘｰﾝ購入率の向上	達成	・可能な限りはｸﾞﾘｰﾝ購入に心掛ける。	・今後も継続実施。
10.地域貢献活動 （道路清掃活動）	達成	・毎週周辺道路の清掃及び、周囲の確認をする。	・今後も継続実施。
11.各車両の点検及び整備	達成	・各日、担当運転手及び担当責任者の点検が行き届き公害汚染を防げた。	・今後も常時確認及び点検を社内全体で継続する。

Ⅷ. 環境関連遵法性評価

環境関連法規等遵守評価表

見直し・評価日：2023 年 4 月 20 日

作成者及び遵守評価者：　田中　翔大

適用法規	該当設備施設	法規の要求事項	評価結果
廃棄物処理及び清掃に関する法律	［収集運搬業者として］ （汚泥,廃油,その他廃棄物） ・産業廃棄物 ・特別管理産業廃棄物	車両保管場所の順守	○
		運搬車輌への表示、マニュフェスト携帯	○
		収集運搬業許可証の更新	○
		飛散防止等確認と見直し	○
		排出事業者処分業者との契約	○
豊田市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例	運行ﾙｰﾄ・緊急連絡網の携帯	油漏れ対策として吸着マット、中和剤、洗浄剤、緊急連絡網の設置	○
豊田市の環境を守り育てる条例	収集運搬業者として	アイドリングストップ 産業廃棄物の的確な運搬 公害汚染防止対策	○
リサイクル法	パソコン	長期使用、再生資源の努力義務、適正処理	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫 洗濯機	買換時リサイクル料負担、適正処理	○
自動車リサイクル法	吸引車・洗浄車・機材車	車検又は買換時リサイクル料負担、適正処理	○
道路運送車両法	運送車両	車検	○
自動車 NO_X.PM 法	吸引車・洗浄車・機材車	車検時検査	○
フロン排出抑制法	エアコン室内機・室外機	簡易点検	○
消防法	車庫・倉庫	消火器点検	○

［環境関連法規への違反、訴訟等の有無］

環境関連法規に対する遵守状況は、確認・調査したところ、違反はなく、全て適合しております。また、関係当局より、違反等の指摘、控訴は、過去３年間ありませんでした

Ⅸ. 代表者による全体の評価と見直し

SDGsへの取組と重なる部分があって、各現場に浸透してきた環境問題を更に持続可能な目標設定にするという事が定着してきまして今年度も良い取り組みができたと評価しています。

経営における課題とチャンスの中でも、燃料費等の物価の高騰はエコドライブの加速に繋がり軽油使用量削減となりました。
新しい 組織運営のスタイルを導入したことで、売上を上げることや経費を削減することは、個人の利益と会社の利益と社会の利益がイコールで結ばれるようになりました。環境経営活動でも、この成果が出たと感じています。
環境経営目標は、社会からの期待や要望が背景としてあります。自分たちの置かれているビジネス環境を考えて、現状をしっかり周知して自主運営していく集団へ進化していくためにも、スピード感を持ったあらゆる情報開示を進めていくことを見直し指示事項として来期取り組んでまいります。

昨今新しい混迷の時代を迎えた私たちの周りは、これまでにない早いテンポで変化しています。
全社員が仕事に誇りを持ち、一致団結して新しい技術に挑戦し、たゆまぬ進歩の為、一人一人が努力を重ねていきます。
そして今後も環境対策に貢献する項目を掲げて全社員で邁進して参ることをお約束致します。

―さらなる進化へ―

2023 年 4 月 10 日
東環工業株式会社
代表取締役　田中　孝浩